1月29日 07X12551-0 030847 平成20年 1月 中中 整理番 発送番 発送日

## 允 運 $\coprod$ 盟 护統

#許出願の番号 記案日 #許庁罷査官 #許庁職査官 #許に願入代理人 8用条文 特型特特適

1 4 ωII N m Ø N 2月 -(1) O件排例器 00陣形然 NN 特中毎伊第四次中東の東

篠鼠 N

5 VO N ۵ ۳. 4

0

これにしいて簡単が見書を提出してくだ のなす。以内内に一切の 中国 きつ 7 o 次の理由によって拒絶をすこの通知書の発送の日から 田園は、したの、 6₩ こりいのき。 免气

文は子が一大を通りなる。 (前に日本国内) に電気通信回線を の発明の属するおり ができたものに ができたものに 出文そここ願はのとと そ発前すけの明にるる はれ出明を た顧を受 明さの発許 発散そに特 買1乃至4に係る者 ド記の刊行物に記載 と発明に基いて、4 と有する者が容易に 2 頃の規定により特 GANGO この出願の下記の目の上記の目において、頒布さい会衆に利用可能とな事に利用可能とな事における通常のいる、特許法第25 国て分か

۲ Y в 命 O ۳ N ١ 1 0 IJ 与公報 မ်္မ の中 φN 44 7 -0 1 m | 00 OΩ : ついた] \*\*1 : 特開2 ( \*\*2 : 実願昭! に 型用 型用 対 型 の ロ レ イ

びな なな

巊 りが過い 引用文献1に記載された発明を対比す 出版 「マ田と」 「マ田・カリ」 「マ田・カーカップマ田・カーカップ るない ツロカ 46-をい点子る1 | 御師事| | 「おおんし 明の一、沙特の田上級子数の | に係る発明と引用文献なする。 なする。 を明の遅延回路は、制御 と明の遅をのにとが記載さ にない点。(以下、「 発フュえイを!明の一、ツ特! る路三備スと8 保回とをること - 選号るさすりに残る人は多くせるの な円地階に ついた) で信れて有し 0 10 10 上成ユと】 

、本圏タイカ 引用文献1に記載された発明に基 44 干段であるの参照) をディ 神神 二 ては、 リ盗 る発明は、である。 り実現する の該遅延回 保の つジす 事願 い タる頃のに **「子相談、がにて当計本窓** - 下相説 違路路はつ業点をし、てきて、てき 相回回とが当 記歴証され 上遅遅るしき 94

C to 路と をで 上招 419 14 ¥ 多際、 ý V V) 7 4 Ű 構成す Ю [1 ۴ を

Ti U 4

哲、号 延引者 M ۱۱ ا 引請引当入出を、本さ用る相と(しき 用求用す力力こ以願せ文 。童は第七 文項文を信回で下のる献)点、2が当 献1載~号路、の謂ディ 上部図り業 2に2ををが本点求イに に套参て者 とつに遅き配願を頂びは つ手照いがい段へ本容 のいは延二載の除り夕記 対て、さ一さ篩きにル載 てでを配易 比○《せトれ来、係選さ判 しるきて項一の強れ FEREIT □るさて項一る延れ 、るイ語な て遅せいて致発回て 1のジ状し 〇延るるにす明路い 並でタ項得 信回入。係るのでな 6 7 - 16 号路イ(る。運あい 通本化にも 証る点 くり ツ第架 り願す係の 本し子の明 4999, ا ا 路とし 原三(図と 湿湿こ発あ 日季ら入の こない 証証と明る 驚←≫馬用 学が回回 9間 求をてり文 制载点 短短 項備) 御きる 標 名二設引 信れ 下光十 デ相計用 ا... īī 11 149 事で上 イ当事文 記載 保製作 ジを項献 をい述 る理す PIGE かるでる 発証る Or が見るに. +6<sub>-</sub> カナ 即回出 処用る記 ジに相 の紹う 理文。截 タ対違 \* ルし点 - 6套 Nt. 百要 生田郡 盟 れた **...** 泊 Nfr 館七藝 上に開 肿 20 놠 口淵 高にと 1167 世 7 眼后中 计点回 ø 770 ぞにし 川中 4、展 Ŋ ごと信 < ∅

技すイ 調上筋るマ 米油で引か 項のあ用ら 4 通る文構 にりの財政 4N4' U 51 , 610 こり追とる コン用しと 今文巨は ルボッタ 省12万 孤二人に 回記第右 怒機のつ をきる。 、れ参る ロた馬口 ジ発りと シ別をで クに上め かおんる とこご V H W か、ル ら本化 横願す 成のる す連器 る証 コ回口 が認め おごシ 周相ク 色組み

項文 2類 正文で

下一係る ムたアちトさ なも 睛引備引がアる信まチ時ン上にれし理の **水用考用リン発号たゃ間プがおてた由で** 文タプ明日、一つよりいいがにあ 飲イ4のと引しはが時でるっよる トミのシ信用に、対対信。てり にン動や号文お本もが号(、、記グ作ット献け原上相り段本引 載でをトの1名発が当と落願用 さ、停分関に信明つ)信じの文 れ本止ウ係記号のたに号り謂献 た願(ンを載を少後、80末1 発のシ信参さのヤベスが2項に 明請や号展れ立ツ(力共82記 の来ッに~たちト図信に1及載 発下ダ2号レーびき ア風ヶ街 明がウーのと「3れ コーダ組 七二七十 のリンのミなっにた 該時信分1名の係発 シ底ソゆ THOU **<u>歯</u>図 ルノー ΕΕ ω ο ΕΕ** 信発さし 証かにミナ刻4発に - 中温市 回ら応いを・・・明芸 路信じグ解・及はづ 自のて図 NST の号で予勝るび、き は内る1 握る内でにし語い 延の部一「相図未当 '語66 **北村回て図业の屋業** 製回でタ っ絽、 イ 間も路に2~11者 アサーサ く下におうさきにが ツに関チ しが相けのれ既保容 図り当るなる。る最 オの益ァ 2時ず僧イよ 向业器 器言 1間を号ムラ 号を表し 明な 日る項に のをパキチに  $\neg r$ のパスお タ引つのヤ設 匹命 イン一位一定 模石 種ワビサ

强大 3類 N

ワ項 にあった・ 謂り備列一2しよる一行 **水用考用アにたり** 文ン係が 類丿るで引 2A発て用 江內照 、文 記りの本献 数のシ願る きしている。 れ作ッ體配 たをト求戦 発停グ項を 別上りった のヘンドた Aツ信係発 コヤ島る別 トッに発に 0て缶別棋 信夕組ほど 長力 一套 はいる論、 本さり頃業 原力部ト者 のんるにが とこ 図 条 枠 **ഈら参ら彫** 回の既発に 路で)明な  $C_{\mu}$ īī 指卡 厄峰 様る 温服 节节 94 る謂 理の 火火 申

拖掉 CMIしまた 一體故 一构色 164 一指即 川眠 I 0 ω η \_1 Ö 0 1 ω Q

0

金人 퐰 田米 無 Ø Ø 4 N 0 V 明细点 特許庁審査第四部伝送システム 清水 智03 (3581) 1101 内線353403 (3501) 0699 連絡先 高語 F A X

	- 1		
•			
		,	
	ù		
· *			